抽出

テーブルから、条件に合うレコードと必要なフィールドだけを取り出す

◇機能

《抽出》は、開いているテーブルから、条件式に合うレコードの、選択したフィールドだけを取り出して、新しいテーブルを作成する機能です。元のテーブルは変更されません。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/05/20	B02	800	3
2024/06/15	A01	1200	10



抽出したテーブル（条件式：[数量] >= 4）

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/06/15	A01	10

※条件式を入力しない場合は、すべてのレコードが取り出されます。
※フィールドは選択した順に並びます。フィールド名・データ型・書式は元のテーブルと同じです。
※レコードは元のテーブルの順のまま取り出されます。値はそのまま（前後の空白も含めて）コピーされます。
※条件に合うレコードがない場合も、フィールドだけの（レコードが0件の）テーブルが作成されます。

◇メニュー

《加工》-《抽出》

※テーブルを開いている場合に使用できます。開いているテーブルが抽出の元のテーブルになります。
※テーブルの画面で条件式を設定している場合は、その条件式が「条件式」に入力された状態で開きます。
※操作ログから抽出のコマンドを修正することもできます（「■ 操作ログからコマンドを修正する場合」参照）。

■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログで抽出のコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で画面が開きます。

※コマンドのフィールドが、コマンドに記述された順に選択されます。テーブルにないフィールドは選択されません。
※条件式と保存先は、コマンドの内容がそのまま入力されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容



1. 元のテーブル　：抽出する元のテーブルの、フォルダ名とテーブル名が表示されます。
2. 《フィールド選択》ボタン　：フィールドの一覧を開き、複数のフィールドをまとめて選択・解除できます。
3. 抽出するフィールド（必須）　：取り出すフィールドの行をクリックして選択します（もう一度クリックで解除）。
   - 左端の番号は選択した順番です。この順に、作成するテーブルのフィールドが並びます。
   - 見出しのチェックボックス（またはCtrl+A）で、すべてのフィールドを行の順に選択します。
4. 《式ビルダー》ボタン　：「式ビルダー」画面を開き、フィールドや関数を選んで条件式を作成できます。
5. 条件式（任意）　：取り出すレコードの条件を入力します。空欄の場合は、すべてのレコードを取り出します。
   - 入力中に、関数やフィールドの候補が表示されます（Ctrl+Spaceで表示、Escで閉じます）。
   - 「×」で入力内容を消去します。正しい条件式であることを確認すると、緑の「✓」が表示されます。
   - 文字の比較では、大文字・小文字、全角・半角、前後の空白が区別されます（例：「A01」と「a01」は一致しません）。
   - 日付は「`20240401`」のように「`」で囲んで記述します。
6. 《検証》ボタン　：条件式が正しいかを確認します（Ctrl+Enter）。誤りがある場合は、メッセージが表示されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

7. ファイル保存先（必須）　：作成するテーブルの名前を入力します。
   - テーブル名だけの場合は「04_table」フォルダに、「フォルダ名¥テーブル名」の場合はそのフォルダに作成されます。フォルダがない場合は作成されます。
   - 拡張子（.hdf5）は省略できます。「04_table」フォルダ以外の場所には保存できません。
   - テーブル名の長さは、64文字までです。
   - 記号（「-」「.」「＃」など）や全角スペースは使用できません。名前の最後に「¥」「/」、途中に「..」は入力できません。
   - 元のテーブルと同じ名前は使用できません（大文字・小文字やフォルダが違っても同じ名前とみなされます）。
   - 同じ名前のテーブルがすでにある場合は、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、実行せずに画面に戻ります。

8. 《参照》ボタン　：保存画面を開き、保存先を選択できます。

9. コマンド　：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。フィールドを選択すると表示されます。

10. 《コピー》ボタン　：コマンドをクリップボードにコピーします。

11. 《キャンセル》ボタン　：実行せずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。

12. 《実行》ボタン　：実行します（Enterキー）。テーブルが作成されると、画面が閉じ、作成したテーブルが開きます。

◇入力内容に誤りがある場合

《実行》ボタンをクリックしたときに、保存先が空欄、フィールドが選択されていないなどの誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が赤枠で示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《実行》ボタンが使用できるようになります。



※条件式に誤りがある場合（フィールドがない、文字と数値を比較しているなど）は、実行時に誤りの内容を示す画面が表示されます。画面は閉じないので、条件式を修正してもう一度実行してください。

◇操作ログ

OPEN "元のテーブル"
EXTRACT FIELDS [フィールド1] [フィールド2] ･･･ **IF** 条件式 **TO** "保存先" **OPEN**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容	設定内容
OPEN "元のテーブル"	抽出する元のテーブルを開きます	1
FIELDS [フィールド1] ･･･	取り出すフィールド。選択した順に記述します	3
ALLFIELDS	すべてのフィールドを取り出します（FIELDSの代わり）	3
IF 条件式	取り出すレコードの条件	5
TO "保存先"	作成するテーブルの名前（保存先）	7
OPEN（最後）	作成したテーブルを開きます	—

※すべてのフィールドを行の順に選択した場合は、「FIELDS」の代わりに「ALLFIELDS」と記述されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

※下線部（IF 条件式）は、条件式を入力した場合に記述されます。

■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※フィールド名は「[ ]」で、テーブル名は「"」で囲んで記述します。拡張子（.hdf5）は省略できます。

※「FIELDS」または「ALLFIELDS」と、「TO "保存先"」は省略できません。

例

```
OPEN "FG¥仕入明細"
EXTRACT FIELDS [4_金額] [1_伝票番号] [6_伝票日付] TO "FG¥仕入明細_抽出" OPEN
EXTRACT ALLFIELDS IF [6_伝票日付] >= `20260101` TO "仕入_2026" OPEN
```


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.